2021年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日 ： 2022年４月25日
● 事　業　名 ： 岡山県内市町村との連携体制と災害時支援スキームの確立事業
● 資金分配団体 ： 認定非営利活動法人　全国災害ボランティア支援団体ネットワーク
● 実 行 団 体 ： 特定非営利活動法人　岡山 NPO センター
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無 ： ☑有　□無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値/目標状態	目標達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
1-1 県内自治体との提携（評議員への加入）する	加入自治体数	14 自治体／3 自治体	2022年度	＜加入自治体＞ 岡山県、岡山市・倉敷市・瀬戸内市 ※既存１県、1 市、新規２市 ＜活動＞ 〇県域：定例の情報共有会議を継続実施、月１回。 → 西日本豪雨の災害対応からの継続。 〇市町村向けパンフレットの作成 〇市町村訪問（県担当課と実施） 2021 年度訪問先 〇鏡野町・勝央町・美作市・瀬戸内市・倉敷市・赤磐市・備前市・玉野市・笠岡市・和気町・津山市 （11 市町村／27 市町村） 〇研修（情報交換、目線合わせが目的）： ①県と協働の事業の実施。 ・市町村域での三者連携のための交流セミナー ・県事業：災害救援専門ボランティア研修 ②市町村の依頼を受けて講師派遣	3

				・井原市民生員向け研修会 〇岡山市災害ボランティアネットワーク 参加者：社協、行政、災害支援の参加予定のあるボランティア。 頻度：2021 年から連絡会議 1 回、研修年 2 回＝年 3 回。	
1-2 県内自治体との合同実施マニュアルを策定する	官民合同での災害対応マニュアルの有無	9自治体 （備前3、備中3、美作3）／全国で災害に関わる全ての方へ	2022 年度（2021 年度 1 自治体→翌年度以降拡大）	2020 年度サイガイペディアの設置 2021 年度 JVOAD 専門委員と掲載用語についての編集会議を開催。 被災者支援コーディネーションガイドラインなど各種ガイドライン等の災害専門用語を追加予定	2
1-3 県内自治体との合同訓練を実施する	災害対策本部の合同運営訓練実施の有無	3自治体 （備前1、備中1、美作1）／1 自治体	2022 年度	実施 1 自治体：岡山市 岡山市・岡山市社会福祉協議会・岡山 NPO センターで構成される岡山市災害ボランティアネットワークで災害ボランティアセンター設置訓練を開催	2
2-1 必要な支援の時系列整理と役割の整理をする	基礎情報整理ができている	役割が時系列で整理され、マニュアルに掲載できる／時系列整理完了。マニュアル作成中。	2020 年	①被災家屋部会 〇復旧ロードマップ生活再建編の作成（罹災証明・保険の申請についての解説） 〇復旧ロードマップ自動車編の作成 ・協賛会員のあいおいニッセイ同和損害保険の皆様と被災車両の手続きについてまとめた。※近日中に公開予定。 〇復旧ロードマップの活用 ・岡山県 HP に記載 ・株式会社ナンバ「2022 防災カタログ」掲載 ②避難所部会 〇コロナ対応の避難所の 1 日の活動についての整理を行った →2022 年度にマニュアル化・研修企画・実施を行う予定	3

				③在宅避難者部会 ・時系列の動きと必要物資の整理 ・在宅避難者支援のためのコミュニケーション講座の開催 「事例から学ぶ災害被災者とのコミュニケーション」 「災害時の「車中泊」とその「支援」について」 ⑤物資部会 ○「災害ボランティア養成講座”はこぶ”でたすける」開催 ・ラストワンマイル問題解消のため、輸送ボランティアのチームを設置。西日本豪雨時の輸送支援の経験の共有と、法律の確認、保険の確認を座学にて行い、車両の整備、ロープやあおりなどの使い方を実地訓練にておこなった。 ○2022 年度はスマートサプライカタログ支援を含めた災害時（特に発災直後）の物資支援のフローについて、検討を行い、アクションカードを作成。これを元に、行政や企業と連携した訓練を企画している。	
2-1-1 災害の種類・支援先ごとに物資リストを整備する	災害の種類・支援先ごとの物資リストが整備されている	整備されている／一部整備されている	2020年度	作成中 災害VCの必要物資リスト、在宅避難者支援の必要物資リストは作成済み	3
2-1-2 物資提供企業と企業毎の提供物資の整理	物資リストを元に提携すべき企業を探し、企業ごとに提供される物資が整理されている	整理されている／整理されていない	2021年度	作成中 2021年度損保ジャパンとパートナーシップ締結 連携により企業へのアプローチを行っている	3
2-2 支援体制を支えるシステムを開発する	情報共有や、支援調整などのシステムが整えられている。	システムが開発され実装されている／検討中	2022年	検討中 部会での整理を進める中で最も効果的な調整のためのシステムの設置を検討	2
2-2-1 プレマッチングリストの整備	物資と提供企業の情報がプレマッチングリストとしてウェブサイト上に準備できている	ウェブサイト上に準備ができている／災害 VC 立ち上げ時のリストの準備完了。	2021年度	災害ボランティアセンター立ち上げ時に必要とされる物資の掲載完了。 その他は随時追加。 企業側へは働きかけを行っている。	3

2-2-2 無償物資の配送と在庫管理等仕組みの構築	無償物資を迅速に配送する仕組みと、記録を残す仕組みができている	仕組みができている／作成中	2021年度	物資部会にて作成中 今年度中に作成し、訓練を実施。 随時アップデートを行う予定。	2
2-2-3 有償物資の提供の仕組みの提供	スマートサプライにニーズを登録した物資が提携企業から提供される状態になっている。	スマ―サプライで物資が提供できる状態になっている／検討中	2021年度	検討中 有償物資の決済方法について検討を行っている。	3
2-3 支援の訓練を実施する	民間が主体となり、ボランティアセンターの設置や避難所運営の訓練が実施される	災害支援ネットワーク内の4つの部会の持ち回りで、毎年1回ずつ開催／部会で研修・訓練の企画・実施が始まっている	2022年	①被災家屋部会 ・水害にあった被災家屋の手当、重機の研修を企画。 2022年度実施予定 ③在宅避難者部会 ・在宅避難者支援のための研修を実施。 ⑤物資部会 ・スマートサプライカタログ支援と連動した物資管理と輸送の訓練を企画。2022年度実施予定。	2
3-1 協定先の募集と締結	県外の自治体と、災害時に相互に支援ができる協定をむすぶ	九州地域1、関東地域1／九州1、関東0	2021年	○2020年度 SPF佐賀災害支援プラットフォームとの広域連携協定締結 ○2021年度 千葉県・三重県へのアプローチを行っている	3
3-2 合同研修を開催する	協定先と定期的な研修を行う （県内官民、協定先官民）	年に1回程度／検討中	2022年	検討中	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A:変更項目 ☑変更なし □短期アウトカムの内容 □短期アウトカムの表現 □短期アウトカムの指標 □アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
新型コロナの影響を受けつつも、オンラインの活用などが行政・社協にも広がり、研修や評議員会、情報共有会議への参加促進につながっている。 県との協働による訪問周知や、市町村での研修事業の開催により、県内自治体行政・社協でのネットワークの周知が進んでいる。また、パンフレットの作成により災害時の三者連携や民間支援の役割などを総合的に伝えることができるようになった。 倉敷市では災害関連研修事業の受託、災害廃棄物対策マニュアルの策定と訓練への参画。岡山市においては岡山市災害ボランティアネットワークへの参画、協働での訓練の実施など、具体的な災害への備えも始まっている。 各部会においては、役割や機能の整理とともに研修事業の企画と実施を進めている。 事前調査において整理した参画組織と支援カテゴリについては、被災 4 年目を迎える 2022 年度に再調査を行い、今後の発災時に支援の実施可能な組織の洗い出しを行う予定。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
オンラインツールの活用。各取り組みのオンライン開催ないしはハイブリッド開催。

② 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している ☑広報制作物に表示している □報告書に表示している ☑イベント実施時に表示している □その他 →「その他」を選択した場合は記載してください(自由記述):

2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） ・レディオモモ（シティ FM）「おかやま防災メモ」出演：提供岡山市危機管理室／災害支援ネットワークおかやま紹介 ・Oni ビジョン（ケーブル TV）ハピネタ出演／サイガイペディア紹介 ・岡山経済新聞／サイガイペディア紹介　https://okayama.keizai.biz/headline/1212/ ・山陽新聞／損保ジャパンパートナーシップ締結・スマートサプライカタログ支援　https://www.sanyonews.jp/article/1238166 2.広報制作物等 ・災害支援ネットワークおかやま展示用パネル 3.報告書等 ・災害支援ネットワークおかやまパンフレット 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） ＜サイガイペディア＞ ・2021 年 4 月 8 日（木）・22 日（木） 「サイガイペディア執筆者説明会」オンライン開催 ＜物資部会＞ ・2021 年 5 月 22 日（土） 「災害ボランティア養成講座”はこぶ”でたすける」オンライン開催 ・2021 年 7 月 4 日（日） 「災害ボランティア養成講座”はこぶ”でたすける」実習開催 ・2021 年 8 月 30 日（月） 「”はこぶ”で助ける　～物資拠点の運営について学ぶ」オンライン開催 ＜在宅避難者部会＞ ・2022 年 2 月 23 日（水） 「事例から学ぶ災害被災者とのコミュニケーション」オンライン開催 ・2022 年 3 月 5 日（火） 「災害時の「車中泊」とその「支援」について」オンライン開催 ＜災害支援ネットワークおかやま＞ ・2022 年 3 月 22 日（火） 「2021 年度災害支援ネットワークおかやま評議員会兼合同研修会」開催

④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑完了　□整備中
2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☑全て公開した　□一部未公開　□未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
□はい　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2. 内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　□いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☑内部に窓口を設置　□外部に窓口を設置　□ JANPIA の窓口を利用
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

4．関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5．コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
□はい　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由： 当団体の「コンプライアンス委員会規程」では定期開催について定めていないが、必要に応じて開催する体制となっている。
6．報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　□外部監査を実施　□実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは１枚2MG 以下、3～4 枚程度）

復旧ロードマップ生活再建編	「災害ボランティア養成講座”はこぶ”でたすける」実習開催	2021 年度損保ジャパンとパートナーシップ締結 カタログ支援の企業への働きかけを実施くださる